



## 足羽川ダム定礎式を挙行

～足羽川ダムの永久堅固と安泰を祈願して～

令和4年11月19日(土)、足羽川ダム本体打設の開始にあたり、国会議員、市町長並びに地元関係者、212名にご臨席頂き定礎式を執り行いました。足羽川ダムの永久堅固と安泰を祈願し、ダムの底に「礎石」が埋納され、秋晴れのもと、万歳三唱と久寿玉開披で定礎を締めくくりました。



### 概要

**日時** 令和4年11月19日(土) 11:00～12:20  
**場所** 福井県今立郡池田町小畑(ダム建設現場)  
**主催** 国土交通省 近畿地方整備局

### 参加者

212名  
国会議員、福井県知事、県議会議員、地元首長、市町議会議員、地元地権者、施工業者など

### 式辞

豊田 国土交通副大臣



足羽川の治水に対し、苦渋の決断を頂き、先祖代々の住み慣れた土地をご提供頂いた地権者の皆様をはじめ、地元の皆様のご理解・ご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

### 来賓祝辞

関係自治体の首長、地元の国会議員から祝辞の挨拶を頂きました。



杉本 福井県知事



杉本 池田町長



東村 福井市長



山崎 参議院議員



高木 衆議院議員



滝波 参議院議員



足立 参議院議員



### 礎石搬入

木遣り唄と纏に合わせて「礎石」を搬入。

### 木遣り唄

きやひかつせいかい  
福井木遣櫓警會

### 礎石隊

清水・大林特定建設工事  
共同企業体職員



### 定礎の儀

土木に由来する儀式で、工事を進める道をつける、つけられた道をならす、道をさらに強固にする、という意味が込められています。



ちんてい  
鎮定の儀



いみごと  
斎鏝の儀



いみづち  
斎槌の儀



まいのう  
埋納の儀



礎石は、ダム堤体敷となる基礎地盤から採取した堅硬な花崗岩で製作しました。



約100m上空からバケットが降下し、コンクリートを打設。

### 久寿玉開披・万歳三唱

最後に、大森福井県議会議長のご発声による万歳三唱と久寿玉開披で幕を閉じました。



### 工事報告



佐藤 足羽川ダム工事事務所長

流域の皆様方の安全で安心できる暮らしを実現するため、引き続き、足羽川ダム建設事業を着実に進める所存でございます。

詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで!

足羽川ダム 事業の進捗状況

検索

channel Asuwagawa

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます!

足羽川ダム YouTube

検索

足羽川ダム事業進捗

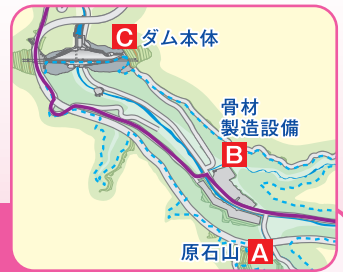
channel Asuwagawa





# 知っていますか？ダム建設は地産地消。

建設に必要なコンクリートの材料となる骨材を近くの山から調達、工事現場内でコンクリートを製造しています。



## 今しかみられない！<sup>こつざい</sup>骨材製造設備（骨材プラント）

足羽川ダムでは、ダムサイトから約1km上流で大規模な骨材製造設備が稼働しています。現在のダム工事はダム本体のコンクリートに必要な骨材のもとになる原石を現地の山（原石山）から調達し、原石を破碎、篩い分け、4種類の骨材を製造し、効率的にコンクリート打設を行っています。また、骨材製造過程で発生する濁水は、濁水処理整備で処理し、骨材の洗浄水として再利用する等、環境に配慮し工事を進めています。

ダム堤体の基礎掘削が完了し、10月からダム本体のコンクリート打設が始まりました。今号では、ダムのコンクリートを製造する骨材製造設備についてご紹介します！！



### ① 原石山

原石山を発破掘削し、骨材（原石）採取。大型ダンブで運搬。



### ③ 一次サージ

1次破碎した原石を約2日分（※）貯蔵。

### ② 一次破碎設備

採取した原石を粒径200mm程度に破碎。

### ⑩ 細骨材貯蔵設備

製砂設備で製造した砂（細骨材）を約3日分（※）貯蔵。

### 濁水処理設備

製造過程で発生した濁水を処理し、洗浄水等へ再利用。

### ⑧ 原砂設備

2次3次破碎設備で20mm以下になった原砂を貯蔵。

### ⑤ 篩分（ふるいわけ）設備

洗浄した原石、2次・3次破碎した原石を粒径毎に原砂、砂利（粗骨材）に分級。

### ⑨ 製砂設備

原砂を粉碎し、粒径を調整し、砂（細骨材）を製造。

### ⑥ 二次三次破碎設備

篩分設備で分級した原石を細粒化するため、さらに破碎し、砂利（粗骨材）を製造。さらに篩分設備に運搬し分級。

### ④ 洗浄設備

円筒形のドラムを回転させて原石を水洗い。

### ⑦ 粗骨材貯蔵設備

分級した砂利（粗骨材）を種類毎に約3日分（※）貯蔵。

### ⑪ ベルトコンベア

約1km下流にあるダムサイトへ運搬。

下流まで運搬

### C

### ⑫ 急傾斜ヘルコン

角度55度の急勾配で約90mの高さまで運搬。



### ⑬ 骨材調整ビン

運搬してきた骨材（砂、砂利）を一時的に貯蔵。



### ⑭ バッチャープラント

骨材、セメント、フライアッシュ、水を練り混ぜてコンクリートを製造。



### ⑮ ケーブルクレーン

ダムサイト兩岸を跨いで張られたケーブルを使い、大型バケットでコンクリートをダム堤体まで運搬。

※ 日最大コンクリート打設量を想定した場合の骨材貯蔵日数を示します。

①～⑮までがダムのコンクリート調達から打設までの流れです。



### ダム情報

足羽川ダム本体では、約67万<sup>m</sup><sup>3</sup>のコンクリートを打設するため、約138万tの骨材（砂、砂利）を製造する必要があります。

【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所  
福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>（足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。）